

(7) 平成28年度上期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度整備予定面積約12ヘクタール（汚水管布設工事6件）全てを発注した。下期に汚水管布設（幹線）工事1件を発注する。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備予定面積約9ヘクタール（汚水管布設工事4件）全てを発注した。

既成市街地の雨水事業では、向小金雨水幹線整備事業について、東日本旅客鉄道株式会社常磐線軌道下横断の工事延長約40メートルについて、7月に東日本旅客鉄道株式会社と施工委託に係る協定を締結し、下期に軌道下推進工事に着手する。

つくばエクスプレス沿線整備では、汚水及び雨水事業の土地区画整理事業者と業務委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が46.8ヘクタール、雨水事業が7.0ヘクタールであり、9月末現在で整備予定の約40%を発注した。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、149,449人で、前年同期に比べ5,644人（3.92%）の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、83.56%で、前年同期に比べ1.12%の増となった。

ウ 経理の状況

上期における総収益は、1,618,433,307円で、前年同期と比べ44,515,243円の増額となった。総費用は、992,255,070円で、前年同期に比べ5,085,187円の減額となった。税抜きによる総収益1,560,569,564円から総費用990,263,451円を差し引いた当期の損益は、570,306,113円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が982,232,119円で前年同期に比べ38,533,603円（4.08%）の増収となった。

このほか、営業外収益は636,201,188円で、前年同期に比べ5,981,640円(0.95%)の増収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が784,527,517円で前年同期に比べ23,472,674円(3.08%)の増額となった。このほか、営業外費用は207,719,777円で、前年同期に比べ15,159,191円(6.80%)の減額となった。